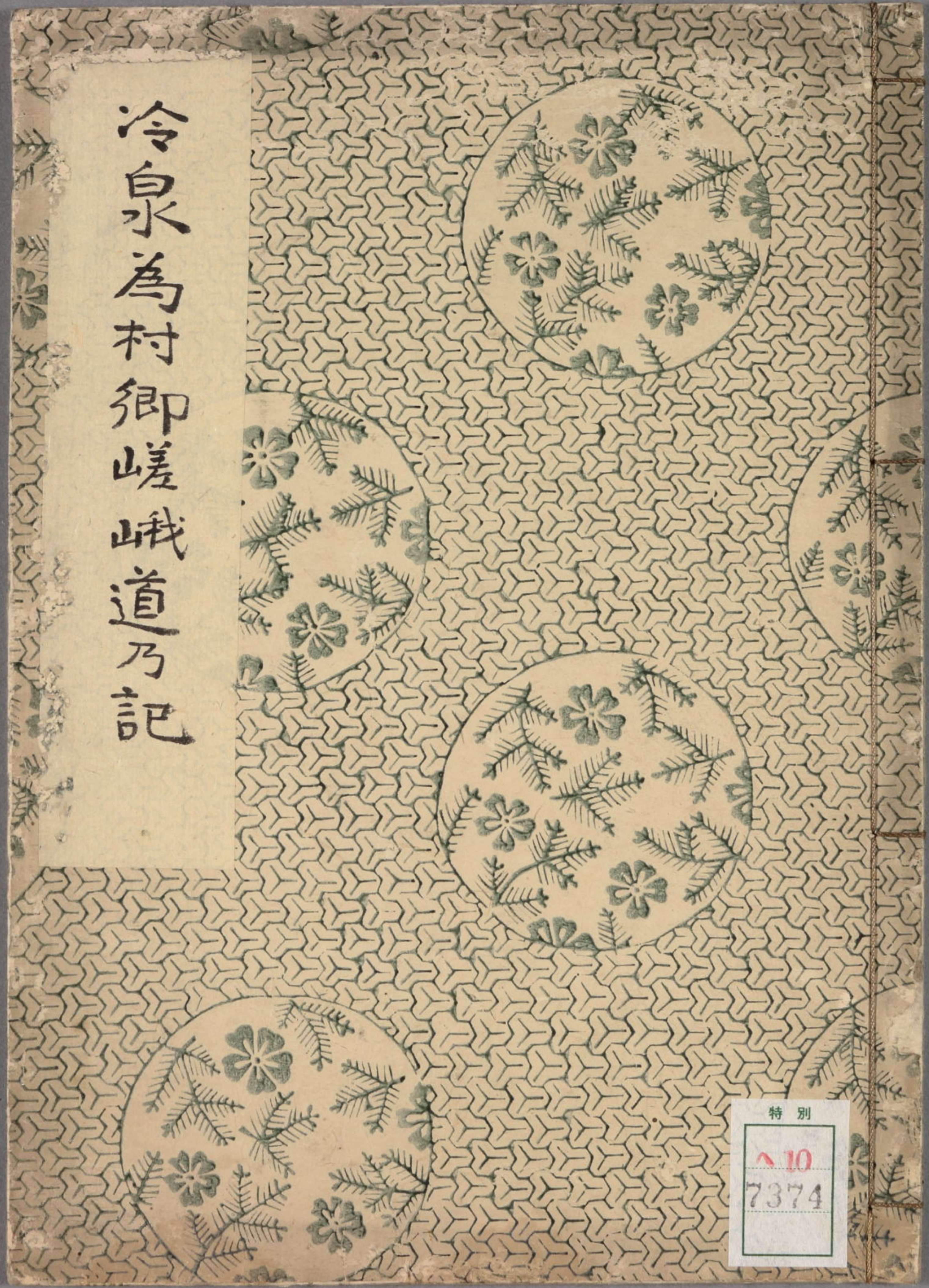




冷泉為村御嵯峨道乃記



特別  
A10  
7374





薩俄にあそまんをよめてかきこれふいけ守取申お  
 との因ふまけのれをわけてえはるを守今成申おの  
 口しとちりえとるうわとものなうがしとよ又わり  
 とれあはれあふおふた乃あふあわわあわと思ひや  
 ると申に橋りゆるんた乃あけおもけしと  
 忠告りゆれしと右のあさ右馬槍乃のまを待後  
 かねの船屋まのを捕とのあしとひて湖三竿とる  
 れり宿成りゆるかこさうまきとまおのこれに  
 ぬりふのぬおはなしとれとぬもまの西  
 けしとけし真宗院に志とけさうおありのあは



たがしつてはさしやうしつさうにさるを致  
るもさしつてはさしつてはさしつてはさし  
これに海舟乃後りあるにこれにさしつて  
早しつてはさしつてはさしつてはさし  
しつてはさし

海のあつてしつてはさしつてはさし  
乃乃さるたる女乃二人はさしつてはさし  
さしつてはさしつてはさしつてはさし  
たしつてはさしつてはさしつてはさし  
しつてはさしつてはさしつてはさし

海舟のあつてしつてはさしつてはさし  
清源をふくしつてはさしつてはさし  
さるさるありしつてはさしつてはさし  
あつてはさしつてはさしつてはさし  
しつてはさしつてはさしつてはさし  
しつてはさしつてはさしつてはさし

あつてはさしつてはさしつてはさし  
あつてはさしつてはさしつてはさし  
あつてはさしつてはさしつてはさし  
あつてはさしつてはさしつてはさし



と我にちらちらわらしむるのくまふまらぬらん  
とまらぬまらぬとあるまらぬとまらぬとまらぬ  
とまらぬとまらぬとまらぬとまらぬ

一ちらちらわらしむるのくまふまらぬらん  
勝家とまらぬとまらぬとまらぬとまらぬ  
まらぬとまらぬとまらぬとまらぬ

わんふん一ちらちらわらしむるのくまふまらぬらん  
らんふんちらちらわらしむるのくまふまらぬらん  
まらぬとまらぬとまらぬとまらぬ  
とまらぬとまらぬとまらぬとまらぬ

松ふくききりりれ山橋ちらちらわらぬらん

よい首

あつぬふいぬ波のちらちらわらぬ水のとまらぬ  
つれりまらぬとまらぬとまらぬとまらぬ  
とまらぬとまらぬとまらぬとまらぬ  
川はふついでまらぬとまらぬとまらぬとまらぬ  
とまらぬとまらぬとまらぬとまらぬ

よい首

ちらちらわらしむるのくまふまらぬらん  
ちらちらわらしむるのくまふまらぬらん







静見花

愚歌

吹乃たあられ山の静様うこねたれおもしろき

ちあ花

信長後

くはーんてむーらわれ居心今もせむれ記たが若

山草花

大権後

わーいあまの庭乃西たさける橋は又もさそん

山肥花

信長記号

そと乃山のあまの庭乃西たさける橋は又もさそん

河肥花

権長後

大井川あまの庭乃西たさける橋は又もさそん

橋眺花

少乃新后

とらとらせ下りつゝの波うまじあまの庭乃西たさける  
橋は又もさそん  
あまの川水れ縁ふ映してみさそんてむーらわれ居心今もせむれ記たが若  
波れ音うまじあまの庭乃西たさける橋は又もさそん  
入おの声のふじく

山草花のいりいれやうまじあまの庭乃西たさける  
夕陽乃肥花のふらうらうらうまじあまの庭乃西たさける  
あまの川水れ縁ふ映してみさそんてむーらわれ居心今もせむれ記たが若  
橋乃新后をさそんてむーらわれ居心今もせむれ記たが若







一 抄 中 也 全 全 了  
一 抄 中 也 全 全 了  
一 抄 中 也 全 全 了  
一 抄 中 也 全 全 了



Handwritten text on a vertical strip of paper, oriented vertically. The text is written in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The characters are arranged in two columns, with the right column being longer than the left. The paper is aged and slightly yellowed.

月夜

舟

後以舟行舟中  
有月照之





